

コースコード : DO-DOFD

税込価格 : 118,800円 (税抜価格 : 108,000円)

日数 : 2日間

## トレーニング内容

本トレーニングは、2026年4月より

受講価格を改定いたします。価格改定の詳細については以下をご確認ください。

[一部トレーニング受講価格改定のお知らせ](#)

DevOps Foundation トレーニングでは、DevOpsの主要な用語を理解することで、全員が同じ言葉で会話できるようにし、成功をサポートするスキルを学びます。

本トレーニングには、業績の高い組織で実際に行われているケーススタディやDevOpsコミュニティの最新の考え方、原則が含まれており、インタラクティブな演習を活用することで、Gene KimによるPhoenix Projectで説明されている「3つの道」や、「State of DevOps」や「DevOps Institute Upskilling」の最新レポートなど、学習を実践に活かすことができます。

幅広い層を対象としており、ビジネス側の方はマイクロサービスやコンテナについて理解することができます。

技術者側の方は、コスト削減や品質向上、アジリティを実現し、ビジネス目標をサポートするDevOpsのビジネス価値を理解することができます。

このトレーニングは、DevOps Foundation認定試験の内容を網羅しています。

## ここに注目!!

DXをサポートするための基礎レベルのトレーニングで、コストを削減しながらアジリティ、品質、顧客サービスを向上させる組織的な取り組みをサポートする「DevOps」について学び、ケーススタディ、実際の成功事例、指標を活用します。

対象回限定で受講料が最大30%OFFになるキャンペーンを実施中！

詳細は [こちら](#)

## ワンポイントアドバイス

受講料には、認定資格試験パウチャー費用も含まれております（試験パウチャー単体でのお申し込みはできません）。

本コースは、「DevOps Foundation」試験の内容を網羅しています。  
試験パウチャーの有効期限はコース開始日から6ヶ月を保証します。

再受験費用を含んだTake<sup>2</sup>

オプションをつけることも可能です。Take<sup>2</sup>オプションについて詳しくは [こちら](#)をご覧ください。

## 受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

以下のようなマネジメント、オペレーション、開発者、QAやテストの専門家

- ・IT開発、IT運用、ITサービスマネジメントに携わる方
- ・DevOpsの原則の理解を必要とする人
- ・アジャイル・サービス・デザイン環境で働く、またはこれから働くとしているITプロフェッショナル

## 前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・IT用語に精通していること、IT関連の職務経験があることが望ましい

## 目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・DevOpsの目的と用語
- ・ビジネスとITへのメリット
- ・継続的インテグレーション、継続的デリバリー、テスト、セキュリティ、「3つの道」などの原則と実践
- ・DevOpsとアジャイル、リーン、ITSMとの関係
- ・ワークフロー、コミュニケーション、フィードバックループの改善
- ・デプロイメントパイプラインやDevOpsツールチェーンを含む自動化の実践
- ・エンタープライズ向けにDevOpsを拡張する
- ・重要成功要因と重要業績評価指標
- ・事例(ケースストーリー)

## アウトライン

DevOpsの探求

DevOpsの定義

なぜDevOpsが重要なのか

ビジネスの視点から

ITの視点から

DevOpsのコアとなる原則

3つの道

制約条件の理論

カオスエンジニアリング

学習する組織

主なDevOps プラクティス

継続的テスト

継続的インテグレーション、継続的デリバリー、継続的デプロイメント

サイト・リライアビリティ・エンジニアリング、レジリエンス・エンジニアリング

DevSecOps

ChatOps

カンバン

ビジネス & テクノロジー・フレームワーク

アジャイル

ITSM

リーン

安全文化

学習する組織

継続的な資金調達

カルチャー、ビヘイビア、オペレーティング・モデル

文化の定義

文化的負債

行動モデル

組織モデル

## DevOpsツールチェーンの自動化と設計

CI/CD

コードとしてのインフラストラクチャ

クラウド

コンテナ & マイクロサービス

機械学習

DevOpsツールチェーン

## 計測、測定、報告

計測の重要性

DevOpsメトリクス

スピード/スループット/テンポ

品質

安定性

文化

リードタイム/サイクルタイムの変更

バリュー・ドリブンなメトリクス

## 共有、シャドウイング、進化

DevOps Days

企業におけるDevOps

役割

DevOpsリーダーシップ

組織的考察

作業の開始

課題、リスク、重要な成功要因

